

製品名: 第 XIIIa 因子ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85127**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 83 kDa; Observed MW: 83 kDa

抗原情報

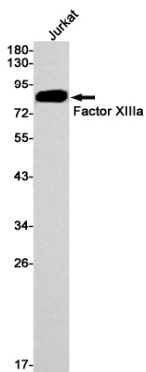
遺伝子名	Factor XIIIa
別名	Coagulation factor XIIIa; F13A; F13a1; Fibrin stabilizing factor; A subunit; Fibrinolygase; TGase; Transglutaminase A chain
遺伝子 ID	2162.0
SwissProt ID	P00488
免疫原	ヒト因子 XIIIa の組換えタンパク質

背景

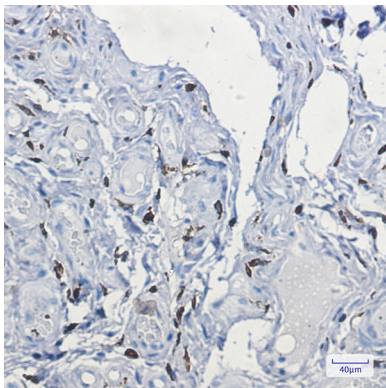
第 XIII 因子はトロンピンとカルシウムイオンによって活性化され、トランスグルタミナーゼへと変化します。トランスグルタミナーゼはフィブリン鎖間の γ -グルタミル- ϵ -リジン架橋の形成を触媒し、フィブリン凝血塊を安定化させます。また、 α -2-プラスミン阻害因子 (フィブロネクチン) をフィブリンの α 鎖に架橋します。

研究分野

画像データ



因子 XIIIa 抗体を使用した、Jurkat 溶解物中の因子 XIIIa のウェスタン ブロット分析。



因子 XIIIa 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。